

ミヤコグサ (都草)

名前の意味：^{いみ}京の都きょう みやこに生える草という意味。

分類：双子葉類、マメ科、ミヤコグサ属

(マメ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：エンドウ、アズキ、ソラマメ、ダイズ、ラッカセイ)

好きな場所：日当たりのよい道ばたや空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた（^{じせい}自生）

特徴：3つの小葉からなる白っぽい緑色の葉、黄色いマメ形の花、茶色い細長い実。

種子の運ばれかた：さやがはじけて飛ばされる

花弁の数：^{りべん}離弁、^{れつ}5裂

花の時期：5－6月

食べ方：食べられない

見分け方：シロツメクサとは、花が大きくて数が少なく、黄色いこと、小葉が卵を逆さまにした形（^{さか}倒卵形）で、白っぽい緑色であることで、区別できる、

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★

^{そうごうなんいど}総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)